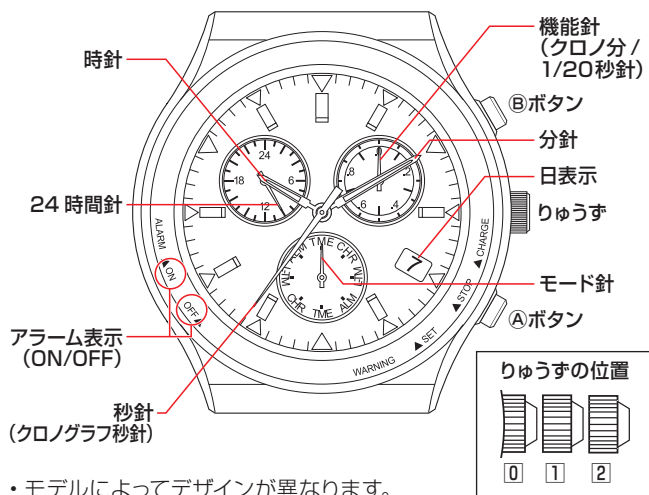


E820/E821 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/e82/e82.html>

各部の名称



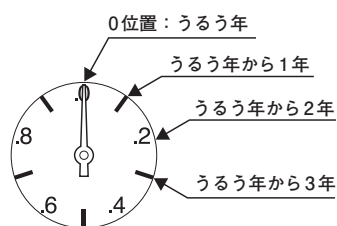
・モデルによってデザインが異なります。

時刻とカレンダーを合わせる

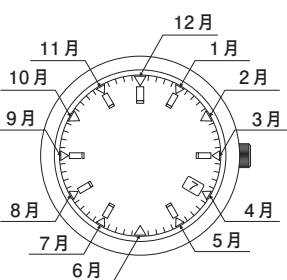
この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [TME] (時刻 / カレンダー) に合わせる
3. りゅうずの位置を②にして、⑧ボタンを押す
秒針が0秒に移動して、止まります。
4. りゅうずを回して、時刻を合わせる
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後の違いに注意します。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
5. ⑧ボタンを押して、「年」を合わせる
 - ・りゅうずを回して、機能針を合わせます。
 - ・うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。
6. ⑧ボタンを押して、「月」を合わせる
 - ・りゅうずを回して、月に対応した位置に秒針を合わせます。
7. ⑧ボタンを押して、「日」を合わせる
 - ・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
8. 時報に合わせて、りゅうずの位置を③にして、終了する
秒針が現在の秒まで移動して、動きははじめます。

経過年の位置 (機能針)



各月の位置 (秒針)



クロノグラフを使う

- ・1/20 秒単位、最大 60 分まで計測できます。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
クロノグラフ秒針が0秒に、クロノグラフ分針が0分に移動して、止まります。

スタート / ストップ : ⑧ボタンを押します。

- ・ストップ中に⑨ボタンを押し続けると、クロノグラフ分針が、1/20 秒の位を表示します。ボタンを離すと戻ります。

リセット : ストップ中に、⑧ボタンを押し続けます。
クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行ってください。

3. りゅうずの位置を③にして、終了する

ローカルタイムを使う

モードを [L-TM] (ローカルタイム) にすると、他の地域の時刻が表示されます。

- ・[TME] (時刻 / カレンダー) の時刻を基準に、± 27 時間の範囲 (1 時間単位) で、時差を設定します。
- ・分針と秒針は、[TME] (時刻 / カレンダー) と共通です。

ローカルタイムを表示する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [L-TM] (ローカルタイム) に合わせる
ローカルタイムが表示されます。

時差の設定を変更する

1. モード針が [L-TM] (ローカルタイム) を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して、時差を設定する
 - ・24 時間針を見て、午前 / 午後の違いに注意します。
 - ・設定中に時計が午前 0 時を通過すると、日表示が切り替わります。日表示の切り替わりには、若干時間がかかります。
3. りゅうずの位置を③にして、終了する

アラームを使う

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [ALM] (アラーム) に合わせる
時針、分針、24 時間針が現在のアラーム設定時刻を示し、秒針が 30 秒位置を示します。
3. りゅうずの位置を②にする
アラーム設定が自動的に「ON」になります。
4. りゅうずを回して、アラーム時刻を設定する
 - ・アラーム時刻の午前午後の区別は、24 時間針で確認します。
 - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・アラーム時刻は、ローカルタイムに合わせて設定することはできません。
5. りゅうずの位置を③にして、終了する

アラームの ON/OFF を切り替える

[ALM](アラーム) モードで、りゅうずの位置を②にして、③ボタンを押します。

アラーム音をとめる

- ④ボタンまたは⑤ボタンを押します。
- ・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

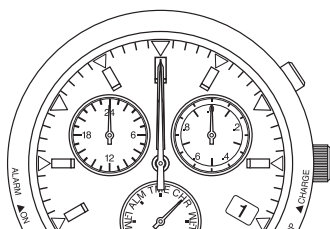
アラーム音を確認する

[ALM](アラーム) モードで、りゅうずの位置が③のとき、③ボタンを押すと、アラーム音を確認することができます。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を②にする
各針が高速で動き出し、現在の基準位置が表示されます。
 - ・正しい基準位置：
モード針以外のすべての針が 12 時位置、
日表示が「1」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



4. りゅうずの位置を③にして、終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を②にする
4. ⑥ボタンを 2 秒以上押す
5. りゅうずを回して、日表示を合わせる
 - ・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
 - ・機能針の正しい基準位置は、日表示が 1 日に変わった直後の 12 時位置です。
日表示を 1 日まで進め、りゅうずを回して、機能針を 12 時位置に合わせます。
6. ⑥ボタンを押して、24 時間針、時分針を合わせる
 - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
7. ⑥ボタンを押して、秒針を合わせる
 - ・りゅうずを素早く右に回転させると、針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
8. りゅうずの位置を③にして、終了する

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を [CHR] (クロノグラフ) に合わせる
3. りゅうずの位置を②にする
すべての針と日表示が、現在の基準位置に移動します。
4. ④ボタンと⑤ボタンを同時に押す
確認音が鳴り、各針がデモ運針をして、オールリセットが行われたことを示します。
5. りゅうずの位置を③にして、終了する

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、カレンダーを合わせ直してください。ローカルタイム、アラームの設定も行ってください。